

市民ワークショップによる 「脱炭素」と「地域課題」の 同時解決が図られた 将来ビジョンづくり

13 気候変動に
具体的な対策を



大野市

市民と目指すべきゴールを共有し、**2050年**までに**二酸化炭素**の排出量実質**ゼロ**に挑戦します。

大野市ってこんなとところです

大野市ってこんなところ①



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



人口	31,615人 (R4.4.1)	
面積	872.43km ² (市域の約9割が森林)	
主な名所	名水百選 日本百名山 続日本100名城	御清水 (おしょうず) 荒島岳 越前大野城
ブランド・ キャッチコピー	ゆい くに 結の故郷 越前おおの	

大野市ってこんなところです②



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



中部縦貫自動車道
大野油坂道路整備後は
2時間10分に短縮！

名古屋から

- 自動車で
 - 一宮 (東海北陸自動車道) 白鳥IC (国道158号) 大野
 - 名古屋 (名神高速) 米原JCT (北陸自動車道) 福井IC (国道158号) 大野
- JRで
 - 名古屋 (北陸本線特急) 福井 (JR越美北線) 大野
- 高速バスで
 - 名鉄バスセンター-JR名古屋駅 福井 (JR越美北線) 大野

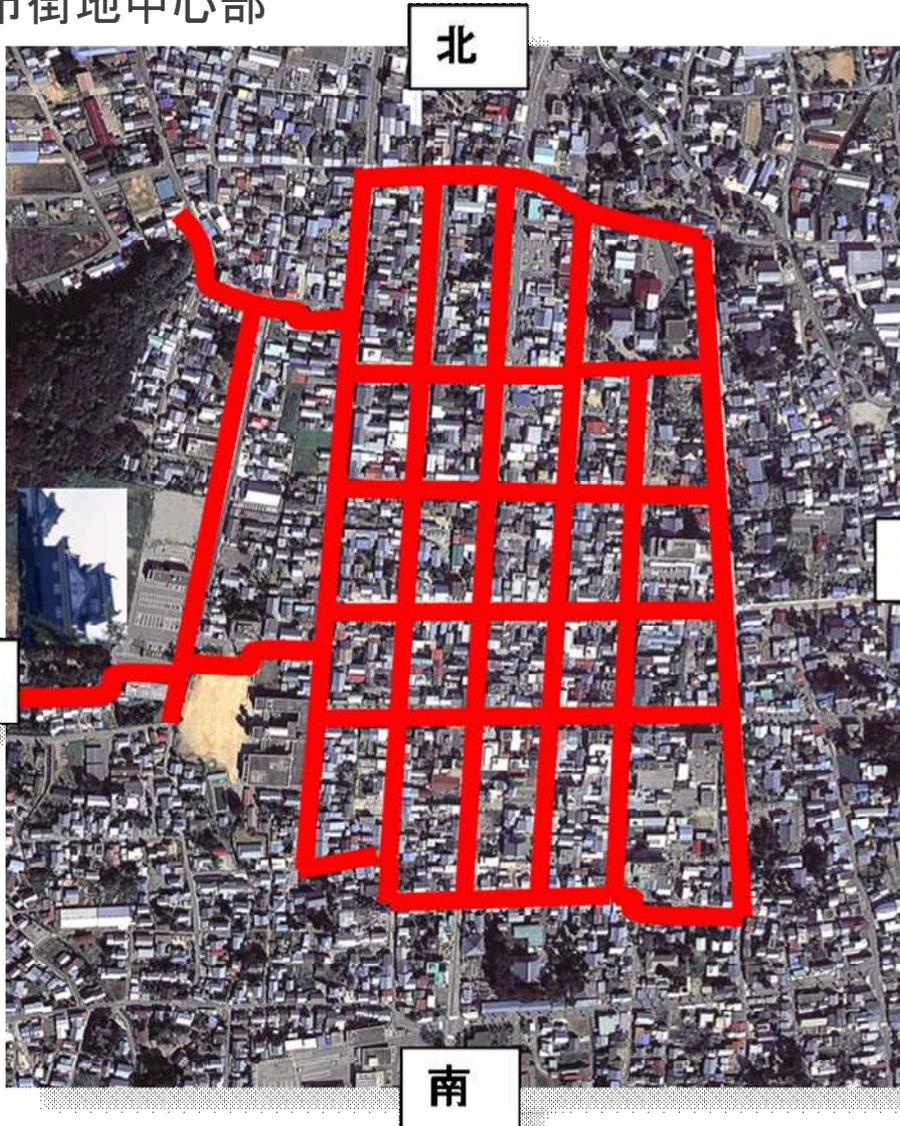
- 約2時間
- 約2時間30分
- 約3時間10分
- 約3時間50分

大野市ってこんなところです③



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

市街地中心部



武家屋敷旧田村家



武家屋敷旧内山家



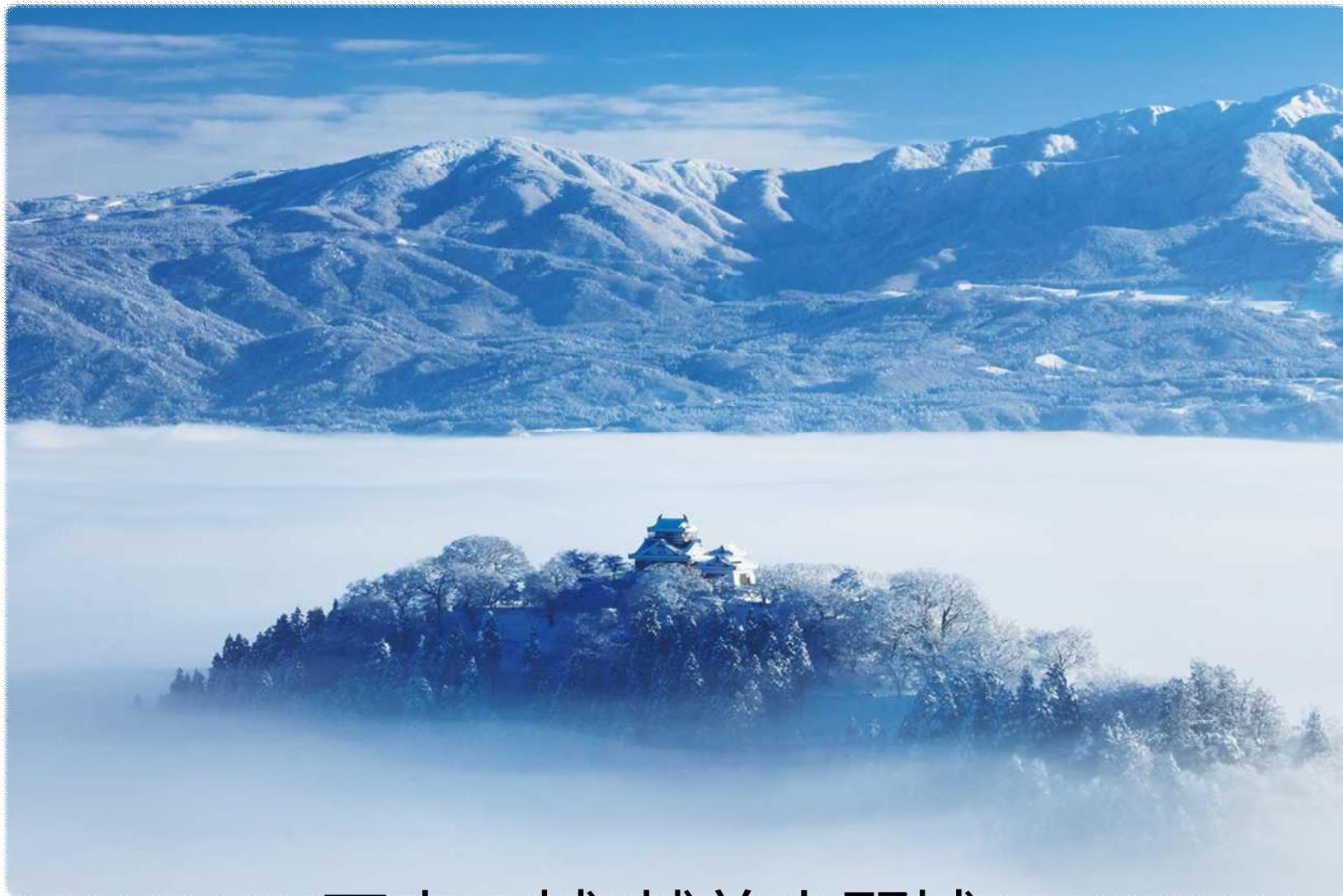
インスタ映えスポット！
武家屋敷旧田村家（約2000個の風車）

大野市ってこんなところ④



越前おおの

大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



天空の城 越前大野城

大野市ってこんなところ⑤



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



日本百名山 荒島岳



名水百選 御清水

大野市ってこんなところですよ⑥



越前おの

大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



上庄さといも



醤油カツ丼



名水おろしそば



とんちゃん



九頭竜まいたけ



でっち羊かん

大野市ってこんなところですよ⑦



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

大野市観光Instagramアカウント (ono_kanko)



大野市の脱炭素の取組

大野市ゼロカーボンシティ宣言



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



大野市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発し、まさに「気候危機」というべき状況となっています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年には、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) が公表した特別報告書において、この目標を達成するためには、2050年頃には二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることが必要との見解が示されています。

こうした中、昨年10月に内閣総理大臣が「2050年に脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

大野市においても、本年3月に策定した「第三期大野市環境基本計画」に基づき、脱炭素化に向けた行動の促進やまちづくりの推進に取り組んでいきます。

日本百名山の荒島岳をはじめとする緑豊かな山々や、大野盆地を潤す清らかな九頭竜川水系、市民の誇りである湧水地と地下水、日本一にも選ばれた美しい星空など、大野市には豊かな自然が残されています。

このかけがえのない自然環境を、私たちの将来の世代に引き継いでいくためにも、全世界が挑む気候変動という難題に対し、市民や事業者の皆さんと目指すべきゴールを共有して一体となって取り組んでいかなければなりません。

大野市は、2050年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に挑戦することを宣言します。



令和3年3月25日

大野市長 石山志保

宣言日 2021年3月25日
全国 342番目
県内 4番目



福井県大野市長 石山 志保 殿

貴市におかれましては、この度、自治体として2050年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ (ゼロカーボンシティ) を目指されることを表明されました。今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で342自治体となりました。我が国としてのパリ協定の目標達成に向け、大変心強く感じております。

先日、国内各所に甚大な被害を及ぼした巨大台風の事例は記憶に新しいところですが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、このような水害等の更なる頻発・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現すべき事態と考えております。

2015年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されました。この目標の達成に向けては、各国政府関係者の努力はもとより、地方自治体を始めとしたあらゆる主体、ノン・ステート・アクターの取組が極めて重要です。

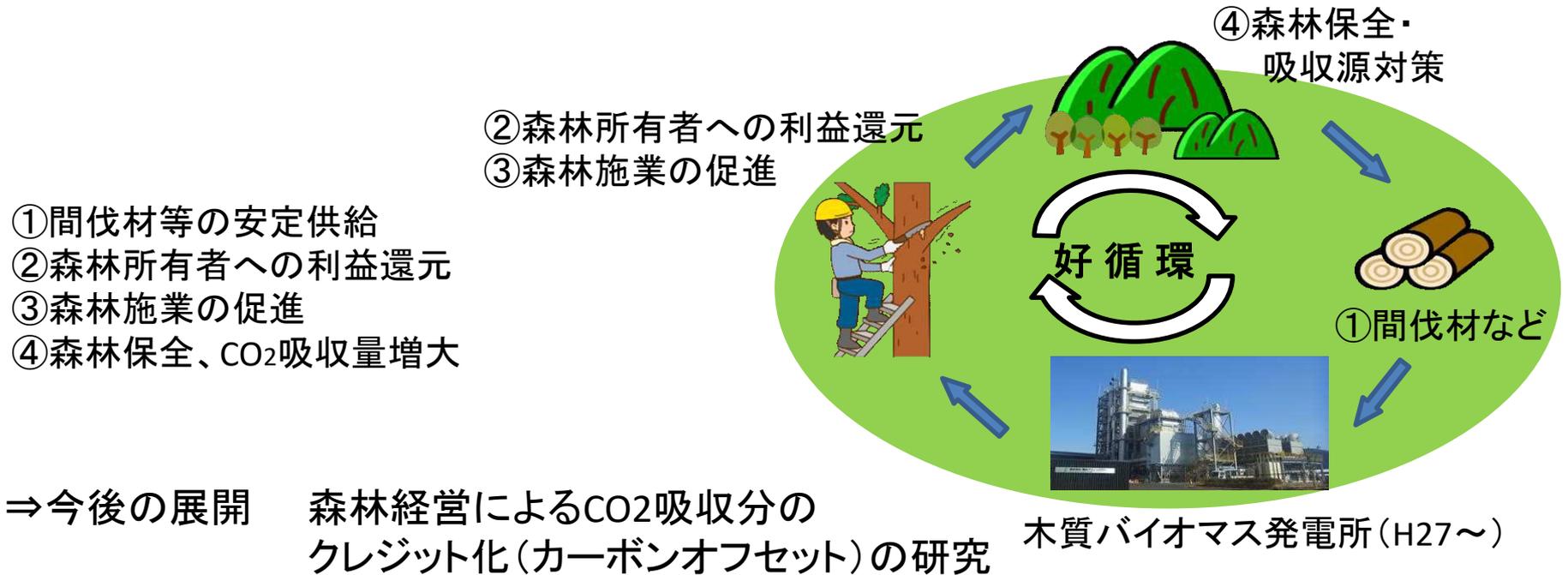
環境大臣として、スペイン・マドリッドで開催されたCOP25で発信し、国際的にも高く評価されたところです。こうした日本国内の力強い取組をしっかりと発信するとともに、パリ協定の目標達成に向け、貴市及び他のゼロカーボンシティとともに取組のさらなる具体化に努めてまいります。

環境大臣 小泉進次郎

大野市のこれまでの取組①

未利用系木質バイオマス活用によるCO2吸収源対策

◆木質バイオマス発電所への間伐材等の安定供給支援【H27～】



大野市のこれまでの取組②

プラスチックごみの削減

◆生分解性マルチの利用促進補助 【R3～】

従前の農業用マルチ・・・収穫後に回収し、J A等を通じ産業廃棄物として処分

【問題】 機械化が困難なため、重労働

【問題】 廃プラスチック



生分解性マルチへの転換

化石燃料由来の農業用マルチの廃棄作業削減

同時解決!!

人口減少、高齢化を
見据えた
農作業の省力化



脱プラスチック

大野市のこれまでの取組③

脱炭素型エコライフの普及啓発

◆ゼロカーボン推進事業 【R3～】

①笑って学ぶ！Eco落語

環境をテーマにした創作落語を通じて、楽しく、環境問題について考える



【対象】中学生

②楽しく学ぶ！Eco紙芝居

環境をテーマにした紙芝居を通じて、楽しく、環境問題について学ぶ。振り返り学習も実施。



【対象】小学生・未就学児（児童館）

③知れば納得！Ecoパンフレット&パネル展示

家庭でできるCO2排出量削減の取組をまとめたパンフレットやパネルを作成。経費削減や健康増進効果も併せて紹介

【対象】市民全般



④遊んで学ぶ！Eco遊園地

人力発電で動く乗り物、エコドライブシミュレータを設置、来場者にアンケート&パネル展示で地球温暖化等を学ぶ。Vioで開催

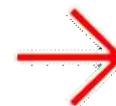


【対象】市民全般
(子育て層)

楽しい！
おもしろい！



エコ



行動変容

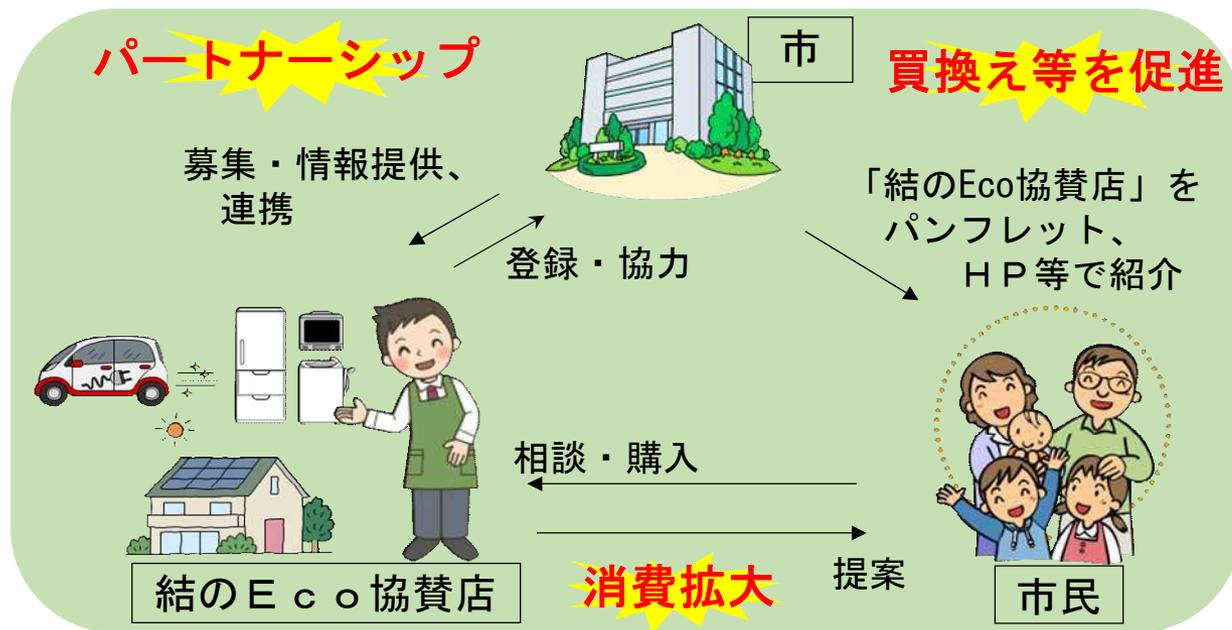
大野市のこれまでの取組④

市内事業者とのパートナーシップの構築

◆頼って安心！結のEco協賛店【R3～】

省エネ家電や太陽光発電設備、エコ住宅、エコカーなどを取り扱う市内の事業者を募集し、パンフレット等で市民に紹介。

【対象】市内事業者
(家電・工務店など)



R3.12現在 48店舗が登録

大野市のこれまでの取組⑤

公共施設の脱炭素化

設備老朽化・多量CO₂排出施設を優先

省エネ診断を実施。施設改修を検討



公共施設太陽光発電等導入調査事業 (R4)

【目的】 + 公共施設の脱炭素化、創エネ (太陽光)

【概要】 公共施設 (約30施設) において、**太陽光発電設備**の簡易的な**導入可能性**調査を実施
モデル的な5施設を抽出し、より**詳細な導入可能性**調査を実施。特に**積雪対応**について検証。



小学校施設営繕事業 (小学校ZEB化調査等) (R4)

【目的】 設備更新、学習環境の快適化 + 学校施設の脱炭素化

【概要】 **有終西小学校**において、**大規模改修**に向けた**空調設備及びZEB化可能性**調査を行い、施設の省エネルギー化を推進する。

大野市脱炭素ビジョンの策定①



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

- 目的**
- 2050年ゼロカーボンシティが実現している望ましい姿を描き、その達成に向け、脱炭素と地域課題との同時解決が図られるような取組方針を明らかにする。
 - 再エネ導入など脱炭素の取組を通じ、人、モノ、カネが地域で循環する地域循環型社会の実現を目指す。

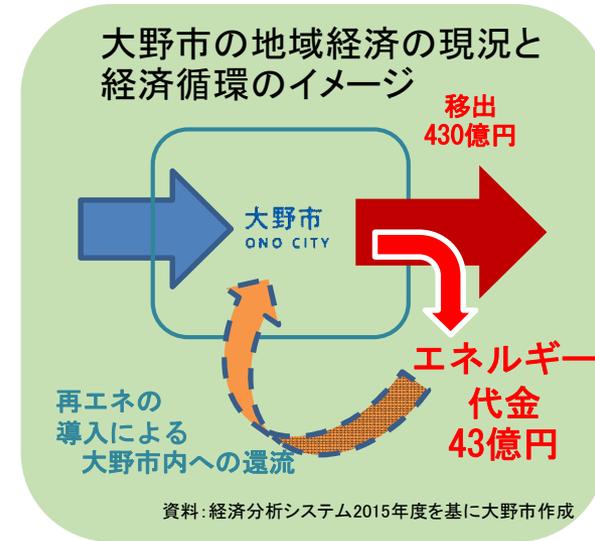
【地域課題】

- ① 再エネの普及
- ② 再エネ人材等の育成
- ③ 耕作放棄地等の活用
- ④ 豊富な森林資源の活用
- ⑤ 雇用創出 (企業誘致、産業創出)
- ⑥ 事業継続性の強化 (民間)
- ⑦ 老朽化した公共施設の更新
- ⑧ エネルギー収支改善 (約43億円が域外へ流出) など



【脱炭素化】

- ・再エネの導入
 - ① 太陽光
 - ② 木質バイオマス
 - ③ 小水力
 - ④ 廃棄物系バイオマス
 - ⑤ 水素 ほか
- ・省エネの実施
- ・蓄電池、EVの普及 など



同時解決!!



2050年 ゼロカーボンシティの実現
= 市民のハッピーな暮らしの実現

大野市脱炭素ビジョンの策定②

ステップ① 最終的な目標（絵姿）を描く

脱炭素と地域課題の同時解決が図られた、実現したい未来（2050年）の大野市

ステップ② CO2の削減目標、再生可能エネルギーの導入目標を決める

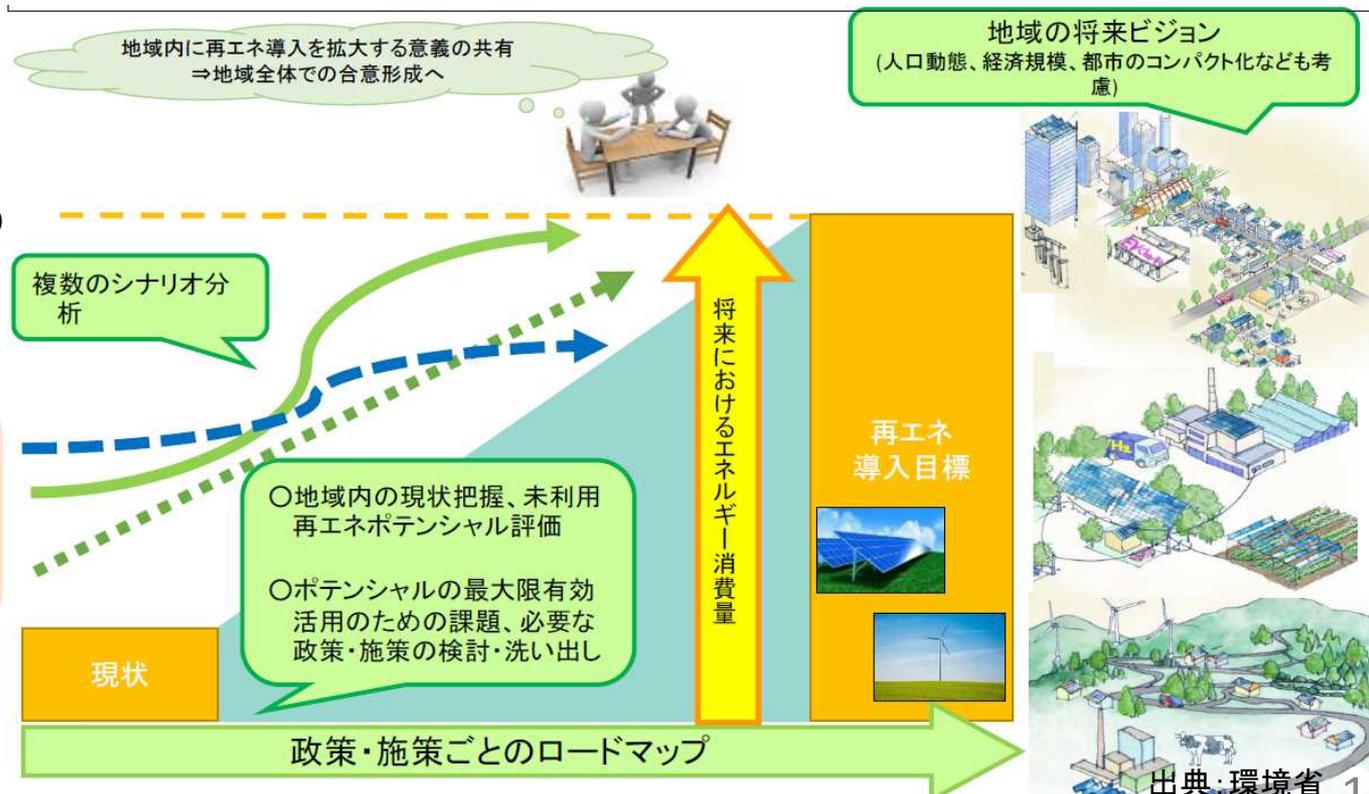
いつまでに、どの再エネを、どれくらい導入するか

ステップ③

プロジェクトを検討

目標を達成するための
実現方策

まずは、絵姿を
市民の皆さんと
共に考え、目指す
ゴールを共有する



ゼロカーボンシティ実現ワークショップ



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



《目的》

- ・目指すべき共通のゴール(2050年の絵姿)に対する市民意見の収集
- ・ゼロカーボンシティの理解促進

《プログラム》

- ①基礎知識「大野市のCO2排出量など現状と課題」
- ②ワーク「大野市の未来から課題解決を考えよう」
- ③ふりかえり

《講師》 水上聡子 氏

アルマス・バイオコスモス研究所代表
県環境アドバイザー、県アースサポーター



【上庄地区】

2/24(木)
上庄公民館

【下庄地区】
【乾側地区】

3/7(月)
下庄公民館

【大野地区】
【小山地区】

3/8(火)
結とぴあ

【和泉地区】

3/10(木)
和泉地域交流センター

【富田・五箇地区】
【阪谷地区】

3/15(火)
富田公民館

大野市の地域づくり体制



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

第6次大野市総合計画 (R3.2策定) 基本目標

「こども」
分野

未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち

教育委員会

「健幸福祉」
分野

健幸で自分らしく暮らせるまち

「地域経済」
分野

歴史・風土と新たな強みを生かした活力あるまち

地域づくり部

「くらし環境」
分野

豊かな自然の中で快適に暮らせるまち

地域文化課

「地域づくり」
分野

みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち

「行政経営」
分野

結のまちを持続的に支える自治体経営

大野公民館
下庄公民館
乾側公民館
小山公民館
上庄公民館
富田公民館
阪谷公民館
五箇公民館
和泉公民館

地域コミュニティの維持や持続的な発展を目指すため、公民館を中心とした地域づくり体制を強化

⇒ 公民館を「教育委員会」から首長部局へ再編

大野市の地域づくり体制



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



各地域を舞台にした市民ワークショップ実施までの流れ

環境・水循環課



地域文化課

ステップ① 地域文化課に相談
事業の詳細を検討
事業実施に向けた課題の整理



ステップ② 公民館長会議にて事前依頼
館長からの意見集約、
事業詳細の修正

大野公民館
下庄公民館
乾側公民館
小山公民館
上庄公民館
富田公民館
阪谷公民館
五箇公民館
和泉公民館



ステップ③ 公民館と協働で実施
・公民館での開催
・地区住民への周知

ゼロカーボンシティ実現ワークショップ



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

地区	実施日	参加人数	年代	会場
1. 下庄・乾側地区	3月7日	21名 (女性7,男性14)	20代2名、30代3名、50代1名、 60代以上15名	下庄公民館
2. 大野・小山地区	3月8日	19名 (女性5,男性14)	20代1名、30代4名、40代4名、 50代3名、60代以上7名	結とぴあ
3. 和泉地区	3月10日	14名 (女性6,男性8)	10代1名、20代1名、30代2名、 40代1名、50代2名、60代以上 6名、不明1名	和泉地域交流 センター
4. 富田・五箇・阪谷地区	3月15日	6名 (女性1,男性5)	30代1名、50代3名、60代以上 2名	富田公民館
5. 上庄地区	3月17日	15名 (女性2,男性13)	10代1名、40代3名、50代5名、 60代以上6名	上庄公民館

計5回 75名の参加

ワークショップのプログラム

《プログラム》

- | | |
|---------------------|-----|
| ①開会のあいさつ、プログラム説明 | 5分 |
| ②アイスブレイク「自己紹介の名刺」 | 5分 |
| ③参加のルール「大切にしたいこと」 | 5分 |
| ④基礎知識 | |
| 「大野市の気候変動に関する現状と課題」 | 15分 |
| ⑤ワーク | |
| 「大野市の未来から課題解決を考えよう」 | 35分 |
| ⑥発表 | 10分 |
| ⑦ふりかえり | 5分 |

計80分

ワークの進め方①



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

35分

ワーク

「大野市の未来から課題解決を考えよう」

脱炭素



地域課題
解決



実現したい
幸せな
未来

ワークの進め方②



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

例えば...

未来予測

あり得る未来は？
願う未来は？
幸せな未来は？

大野市の地域資源・
財産・可能性

伝統的なまち並み



願う未来
幸せな未来

エコでにぎやかな
中心市街地



地域課題を解決
& ビジョンを実現
美しいまち並みの
エコハウスが市街
地空洞化を解決。

ワークの進め方③



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

(例)

2022年

まちの地域資源

CO2吸収

森林が
豊富

小水力
発電

木質エネ
ルギー

土地が
広い

地域の
協力

生物
多様性

自給
自足
しやすい

解決したい課題

CO2
削減

農林業
後継者

耕作放棄
地の活用

省エネ
ライフス
タイル

森林資源
の活用

エネルギー
収支改善

ゴミ
削減

再生可能
エネルギー

交通弱者
の支援

移住定住
促進

10分 15

ワーク進め方④



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

(例)

2050年

未来のライフスタイル

住む

エコハウス ZEHのまち並み 薪ストーブ

ソーラーLED 市街地緑化 移住定住

農林業に従事 ワークেশン

働く

食べる・使う

地産地消 グリーン消費

学ぶ

学校再編 エコスクール

移動する

エコカー カーシェアリング

捨てる・再生する

生ごみ堆肥化 フードロス削減 プラゴミ削減

作る・育てる

畑をする 木を植える

休む・遊ぶ

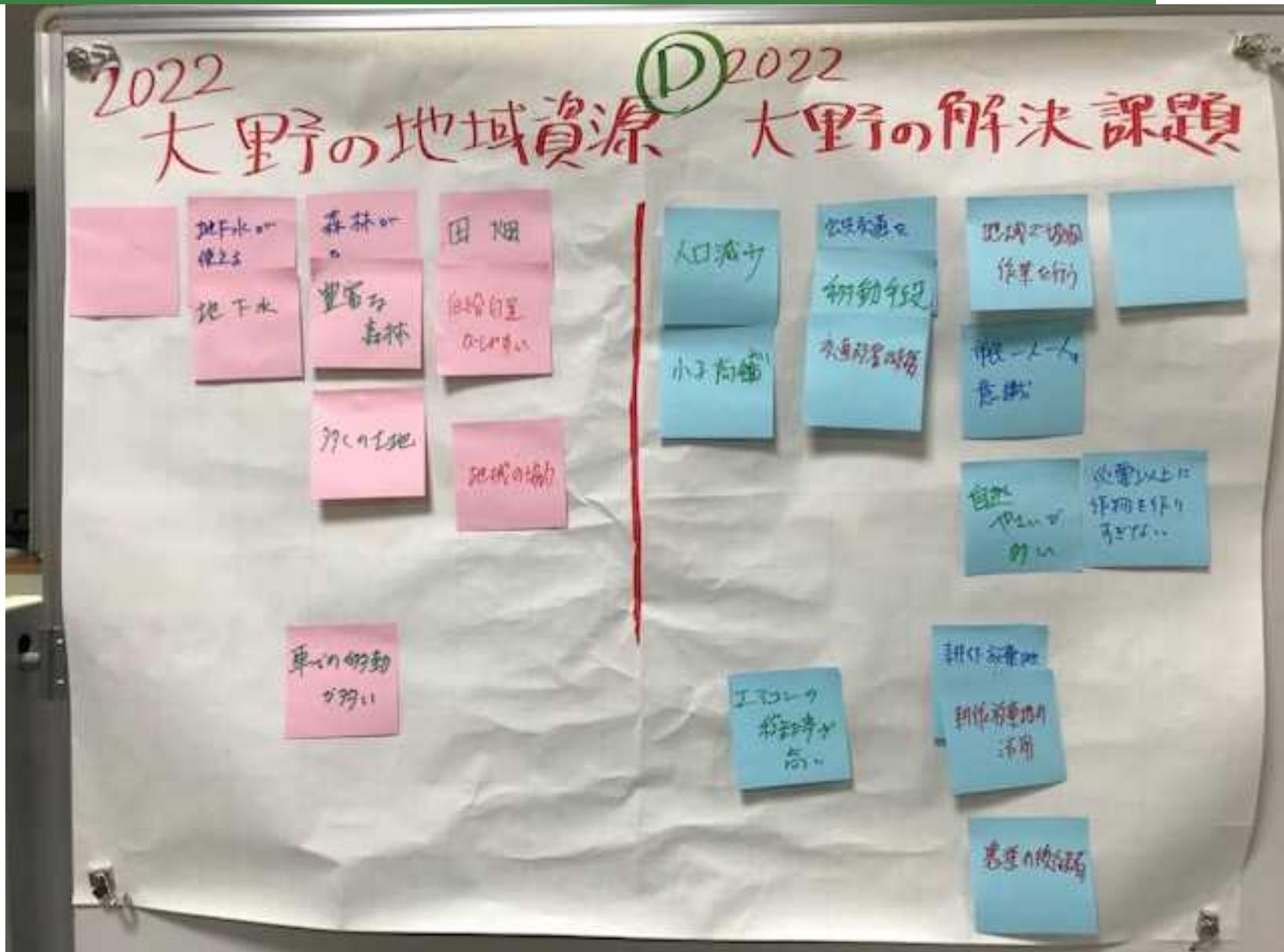
サイクリング 森のサウナ

20分¹⁶

ワークショップの様子①



ワークショップの様子②



ワークショップの様子③



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

~2050 のライフスタイル~ ①

住む	移動する	働く	学ぶ	その他
<ul style="list-style-type: none"> 自然の中を生活する エココン 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関・エコ化 EV車 自転車 バイク 	<ul style="list-style-type: none"> ソーラ エネコ 使用 地産地消 果樹 	<ul style="list-style-type: none"> 英語 デジタル 文化 学習支援 学校 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の恵み デジタル
<ul style="list-style-type: none"> 2050 まで 40年前の 生活回復 	<ul style="list-style-type: none"> EV車 自転車 バイク 	<ul style="list-style-type: none"> 植林 採下 		

働く	捨てる	休む遊ぶ	食べる飲む	その他
<ul style="list-style-type: none"> 農作業の効率化 機械作業 省力 採下 	<ul style="list-style-type: none"> 生ゴミ 堆肥化 プラゴミ ゼロ 食べ残し ゼロ 環境 SDG 文化 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の恵み 自然の活用 リソース 	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消 家庭での 食用 健康 	

意見の取りまとめ



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



■ 220420 市民が思い描く 2050 年の脱炭素なライフスタイル (絵姿) の整理

	現状 (2022 年)		将来 (2050 年)	
	地域資源	地域課題	未来のライフスタイル (大枠)	イラスト
「住む」	<ul style="list-style-type: none"> 昔ながらの蔵造 豊富な森林、水 (地下水)、雪 地域の協力体制、結の精神、世話好き 真っ暗な夜 空き家、空き地 一戸建てで、家がいっぱい 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化 夏は暑く冬は寒い (→エアコン稼働率が高い) 古民家におけるヒートショック死の危険 高齢者と子供が集まれる場の確保 定住者、移住者、Uターン者の促進 デジタル通信 (5G) 等の環境整備 	省エネルギーな暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 結の精神 景観調和型のエコハウス (ZEH) シェアハウスによる共同での除雪作業 歴史的なまち並み カーボンニュートラルな産業団地 木質ペレット、薪ストーブの利用 生ゴミの堆肥化による有機農業
「捨てる・再生する」	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然 (水・森林・空気) 雪が多い 木質廃棄物、稲藁 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの削減、減量、不燃物のゴミ処理の徹底 CO₂削減 		
「働く」	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な森林資源 広大な農地や畑 アウトドアのできる環境 バイオマス発電所 降雪時の除雪が素晴らしい (=仕事が大変) 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の確保 (特に若者) 農業収入の安定化 (儲かる農作業の仕組み) 経済流出 冬場の職の確保 地元企業への就職 	職住一体型の働き方	<ul style="list-style-type: none"> ワーケーション サテライトオフィスでのテレワーク 企業の DX 化
「移動する」	<ul style="list-style-type: none"> 中部循環自動車道の開通予定 城下町 歩ける町 越美北線 	<ul style="list-style-type: none"> 車以外の移動手段の確保、歩く人の増加 公共交通 (越美北線等) の利用促進 EV や自転車の観光用途でのシェア デジタル通信 (5G) 等の環境整備 	エコ交通	<ul style="list-style-type: none"> オンデマンド&カーシェア 越美北線の利用
「食べる・使う」	<ul style="list-style-type: none"> 広大な農地 農作物 (上庄里芋、穴馬スイートコーン等) きれいな水を使った美味しいお米 	<ul style="list-style-type: none"> 畑や農地の荒廃化を防ぐ 廃棄物のロス無くす 地産地消 		<ul style="list-style-type: none"> スマート農業 農地集約化による市民農園 積雪地域に適した太陽光発電 水力・小水力発電 間伐材や里芋、稲藁等を使ったバイオマス発電 園芸施設での木質バイオマスエネルギー利用 雪の利用 (雪室) 燃料作物の栽培 家畜排せつ物のエネルギー利用 森林 (CO₂吸収源の確保) 地下水、水資源、マイクロ小水力発電 大野の郷土料理、特産品 道の駅「越前おおの荒島の郷」の活用
「作る・育てる」	<ul style="list-style-type: none"> 大野の伝統食品 (酒、発酵食品、そば等) 農作物 (上庄里芋、穴馬スイートコーン等) 4 つの一級河川がある 空き土地、遊休地 小水力発電、ダム 道の駅「越前おおの荒島の郷」 	<ul style="list-style-type: none"> 地域力の強化 歴史の保存 人が集う場所の確保 再エネの導入 (小水力、小型風車等) 森林、農地等の荒廃を防ぐ 	省力化・省人化 エネルギーの地産地消 地域資源の利活用	
「学ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> 農業スキルを持った一般人が多い 伝統的な歴史文化 (城下町、寺院、大野城) 希少な生物 (イトヨ等) 生涯学習の開催 発酵の文化 地域の繋がり 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素に向けて頑張る人の意識向上 エコライフへの市民の行動内容の教育 中学、高校での地球温暖化についての教育 子供達に自然と共に生きているという教育 農業体験の観光 地元について知る 	地域資源の利活用 地域教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 景観 (星空・山なみ) ホテルの夜空 イトヨ、アユ 大野の郷土料理、特産品 脱炭素に向けたエコスクール 親子でのアウトドア 自然学校、山村留学による体験学習
「休む・遊ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> 絶景 (四季の自然、星空) 登山、スキー 	<ul style="list-style-type: none"> 子供が楽しめる遊び場の増加 若者に刺さる観光スポットの増加 		

意見の取りまとめ



大野市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



市民が思い描く 2050 年の 脱炭素なライフスタイル in 大野



大野市脱炭素ビジョンの策定②

ステップ① 最終的な目標（絵姿）を描く

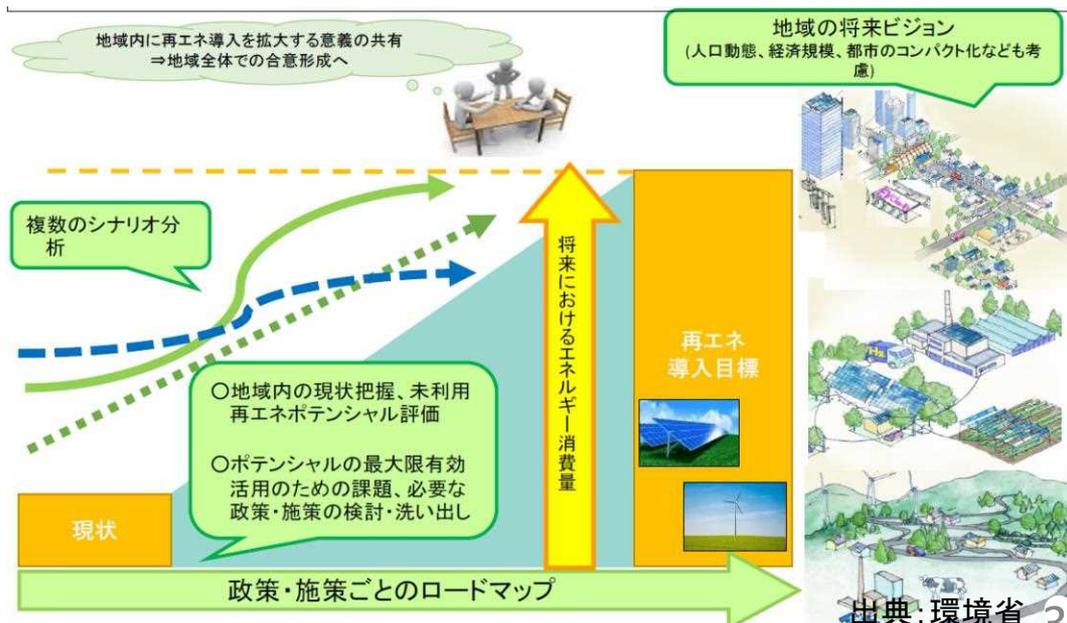
脱炭素と地域課題の同時解決が図られた、実現したい未来（2050年）の大野市

ステップ② CO2の削減目標、再生可能エネルギーの導入目標を決める

いつまでに、どの再エネを、どれくらい導入するか

ステップ③ プロジェクトを検討

目標を達成するための
実現方策



2050ゼロカーボンが実現した大野市



再生可能エネルギーや省エネ技術などを用いて 脱炭素なライフスタイルの実現を目指す

